



【教育目標】

- すすんで学習する子ども
- やさしく助け合う子ども
- 最後までやりぬく子ども
- 元気で明るい子ども

【重点目標】

「できる いいね やってみよう！」



人と関わる経験を



文科省が学校教育の基準を示している学習指導要領には「生きる力」の育成を目指すとして書いてあります。では、具体的に「生きる力」とは何かと言えば、単に学力や体力だけでなく、自分の能力を使うための「思考力・判断力・表現力」や、社会・世界と関わる時に必要な「意欲・人間性」などです。つまり、育成には仲間と一緒に取り組む経験が子どもたちには大切なのです。これからも感染症予防には気をつけながら、人との関わりを増やし、「生きる力」を育んでいきたいと思えます。

ロボットを動かし、課題をクリアしながらゴールを目指すプログラムを作っています。ロボットの動きに、友だちと一喜一憂です。



現在の児童は、東日本大震災を経験していません。教訓を後世に残していくために、今後は「継承」が大切になると考えました。

そこで今年度は、震災当時に浪江町立請戸小の先生だった方をお願いして、全員が助かった状況をお話いただきました。



理科で顕微鏡を使用して観察しています。グループの友だちと協力して追究するのも目的の一つです。



9月の防災の日にちなんで防災対応給食としてヒートレスカレーを使った献立がありました。とても美味しいカレーでした。



原町一中、原町二中、原町三中の生徒が職場体験で「先生」として児童と活動し、お世話になりました。



家庭科で縫い物をしています。始めはぎこちない手つきですが、だんだん上手になっていきます。

